

令和 3 年度

事 業 報 告 書

令和 3 年 4 月 1 日から

令和 4 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

【目次】

I. ソフトテニスの普及振興事業

1 大会開催および運営に関する事項	1
2 地域大会の支援	1
3 加盟団体への支援	1～2
4 広報活動の推進	2
5 各種資格等の制度推進と認定	2
6 各種表彰、顕彰事業の実施	2～3
7 用具・用品・施設の公認	3
8 傷害補償制度	3
9 競技人口の増加対策	3
10 医科学研究事業の推進	3
11 アンチ・ドーピング活動の推進	3
12 テニスパーク棚倉の活用について	3～4
13 加盟団体会長会議	4
14 全国小学生・中学生・高校生指導者研修会	4
15 地域部活動支援	4

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1 競技力向上事業	4～5
2 ソフトテニスの指導者育成	5

III. ソフトテニスの国際振興事業

1 ソフトテニスの国際振興事業	5
-----------------	---

[各事業を推進するための組織と財政の強化]

1 青少年の健全育成および環境教育の取り組み	5
2 暴力根絶の徹底	6
3 体制の強化	6
4 会員登録制度の推進	6
5 財務計画の策定	6
6 長期基本計画の推進	6

(庶務事項)

1 会議等の開催に関する事項	6
2 役員・事務局職員等に関する事項	(別冊)
3 会員登録に関する事項	6
4 分担金に関する事項	6～7
5 補助金・助成金等に関する事項	7
6 協賛金・寄付金に関する事項	7
7 傷害補償制度の給付金に関する事項	7

別表 1～36	8～24
---------	------

ソフトテニスの普及振興、国民の心身の健全な発展への寄与を目的とし、「ソフトテニスの普及振興事業」「ソフトテニスの競技力向上事業」「ソフトテニスの国際振興事業」に係わる事業を積極的かつ効果的に実施した。

前年度策定した、「ソフトテニス大会等の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を基に、大会・イベント等の事業を推進した。

I. ソフトテニスの普及振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響を多く受けたが、普及振興を見据えて広報事業の計画の見直しを行いながら推進した。大会開催については感染症対策の一環として入場者の管理を行うなど新たな方式を取り入れた。

1. 大会開催および運営に関する事項

- (1) 主催および共催大会の開催状況については別表 1 のとおり。新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの大会が中止となったが、感染症対策を講じて「2021 ソフトテニスチャンピオンズマッチ」および「2022 年アジア競技大会最終候補選手選考会」の新規事業を実施した。
〈別表 1〉
- (2) 開催大会において新型コロナウイルス感染症防止対策を継続して実施した。また、参加者を含む大会関係者の入場および体調チェックなどを管理する「バブル方式」のシステムを導入し、「アジア競技大会最終候補選手選考会」において実施した。
- (3) 全日本選手権大会開催地の固定化について検討を開始した。
- (4) 大会運営について、各加盟団体から寄せられた要望や意見は競技委員会で検討し、今後の運営に活かすこととした。

2. 地域大会の支援

地域等における競技会開催の支援として補助金を交付した。〈別表 2〉

3. 加盟団体への支援

加盟団体が行うソフトテニス競技力向上と普及振興支援を行った。

- (1) 地域クラブ、ジュニアクラブ等へ育成および運営支援のための会員登録料還元を実施した。会員登録料より、一般 20%、大学 20%、高校生 10%、高専 10%、中学生 20%、小学生 50%の率で、各加盟団体に助成した。
- (2) 各加盟団体事業を推進するための支援として補助金を交付した。
 - ・小学生大会への補助(41 支部)
 - ・中学生大会への補助(39 支部)
 - ・ソフトテニス週間の実施と補助(36 支部)
 - ・ソフトテニス愛好者増加対策事業への補助(43 支部)
 - ・ナショナルチーム選手派遣事業(3 支部) 〈別表 3〉
 - ・愛好者増加事業について、現状把握と今後の課題を明確にするためアンケートを実施した。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響による支部小学生・中学生大会が中止の為、都府県内やブロックでの小中学生対象大会に対して、特別補助金を交付した。
 - ・小学生大会への補助(18 件)

- ・中学生大会への補助(14 件)
- ・地区大会への補助(7 件)

4. 広報活動の推進

(1) YouTube チャンネルの活用

連盟公式 YouTube チャンネルから大会およびナショナルチーム派遣事業等で地方テレビ局にて取り上げられた番組の配信を行った。YouTube ライブ配信では全日本実業団選手権・全国中学校大会・チャンピオンズマッチを実施した。

(2) 情報発信の推進

連盟公式 Twitter、Instagram の SNS を利用し大会情報等の即時性のある情報発信を実施した。日刊スポーツ新聞に記事掲載 テニスパーク棚倉オープニングセレモニー・大会結果記事等の掲載が実現した。

(3) 機関誌の発行

令和 3 年度購読者数 支部購読 952 名、個人購読 100 名

令和 2 年度購読者数 支部購読 999 名、個人購読 110 名

(4) 会員報の発行

会員登録者に対する情報発信として、会員報を発行した。

5. 各種資格等の制度推進と認定

(1) 技術等級および指導等級

①制度に基づいた認定を行った(別表 4)

②技術等級資格の「認知」「普及」について

技術等級の認知度や普及のため、各加盟団体あるいは地区団体等が発行する大会要項の参加資格欄に「技術等級を有することが望ましい」の記載を依頼することとした。

③地区大会における中学生、高校生の「大会実績に基づく認定基準」の改定を行った。

④全日本選手権大会都道府県予選において、SP を与える特例制度を新設した。

(2) 審判

①制度に基づいた資格認定を行った。(別表 5)

②1 級審判員新規認定のための検定会については、東日本地域は実施できたが西日本地域は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とした。(別表 6)

③1 級審判員更新認定のためのブロック別研修会は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。(別表 6)

④ソフトテニスハンドブック・採点票等を販売した。(別表 7)

⑤主催大会・共催大会が円滑かつ公平に運営されるよう「審判委員選考規程」を策定した。

⑥競技委員会と連携してソフトテニスハンドブックの改定を行った。

6. 各種表彰、顕彰事業を実施

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ランキング表彰対象の大会の多くが中止となったため、令和 3 年度のランキング表彰は行わなかった。

(2) 実施された大会については、規程どおりに表彰を行った。

(3) 本部功労及び各支部から推薦の功労者・優良団体の表彰を行った。〈別表 36〉

- ・本部功労者 ……1 名
- ・支部功労者 ……85 名
- ・優良団体 ……40 団体

(4) 大会の新設(全日本ミックスダブルス選手権大会)及び表彰経費の見直し等により国内大会入賞選手表彰基準の改定を行った。

7. 用具・用品・施設の公認

愛好者・競技者が安全で快適にプレーできるように、公認基準の見直しを含めて検討した。

(1) 公認事業者の退会(令和 4 年 3 月 31 日付)

事業者名: フォワード・アパレル・トレーディング(株)

用具用品: シューズ

(2) 公認事業者の更新

令和 3 年度公認事業者一覧は〈別表 8〉のとおり。

(3) ラケットの証紙、ネットの証布を発行した。〈別表 9〉

8. 傷害補償制度

(1) 会員登録者に対し、傷害補償制度による支援を推進した。

(2) 傷害補償制度に基づき給付金を支給した。〈別表 31〉

9. 競技人口の増加対策

課題となっている競技人口および会員登録数の増加を図ることについて、引き続き対策を検討した。高校生の会員登録者数も減少している状況であり、地域と連携した部活動を活性化させていくことを検討した。

10. 医科学研究事業の推進

(1) 令和 3 年度の医科学研究について「医科学研究報告書」を作成した。

(2) 大会会場においてトレーナーブースを開設し、参加選手の身体ケアとコンディショニングに務めた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、令和 3 年度は全日本ミックスダブルス選手権大会のみでの実施となった。

(3) 第 4 回トレーナー研修会をオンラインで開催した。

期日: 令和 4 年 2 月 27 日(日)

11. アンチ・ドーピング活動の推進

アンチ・ドーピング啓発および教育活動である「アウトリーチ」を大会会場にブース開設し実施しているが、本年は予定していた大会が新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となり、この事業についても実施できなかった。

12. テニスパーク棚倉の活用について

ソフトテニス普及振興および競技力向上事業の拠点として活用する「テニスパーク棚倉」が竣工し、オープニングセレモニーは令和 4 年 3 月 21 日に実施した。この施設を活用し、ハードコートでの強化対策として合宿を実施した。また、アジア競技大会への選手選考のため

めの大会会場として活用した。令和 4 年度以降、ハードコートが必要とする大会、強化合宿や研修事業の実施だけでなく、競技者や加盟団体事業への貸し出し、地域スポーツ振興への貢献のために活用していくこととした。

13. 加盟団体会長会議

令和 2 年度に計画した加盟団体会長会議を令和 3 年度に延期し開催する計画であったが、昨年度同様に新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を中止した。令和 4 年度の開催として改めて計画し、ソフトテニスを取り巻く諸課題に関する情報交換、意見交換を行い、ソフトテニス振興策を検討する予定である。

14. 全国小学生・中学生・高校生指導者研修会

47 都道府県連盟の小学生・中学生・高校生の指導者を対象とした研修会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止とした。

15. 地域部活動支援

学校部活動の改革に伴い、ソフトテニスの普及と指導者活用について検討を行い、要項等の作成に着手した。

II. ソフトテニスの競技力向上事業

新型コロナウイルス感染症の影響により海外での大会は開催されず、アジア選手権大会は更なる延期となったが、2022 年に開催予定の第 19 回アジア競技大会を見据えて強化合宿を実施し、また同大会への代表選手の選考のため、新たに企画した「アジア競技大会最終候補選手選考会」を開催した。

1. 競技力向上事業

(1) 競技者育成プログラムの推進

①47 都道府県で行う Step-1 および 2 については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったところもあったが、実施できた都道府県には 1 支部 40 万円の補助を行った。

②新型コロナウイルス感染症の影響で、全国 8 ブロックで開催予定であった Step-3、そして Step-4 の開催を中止した。〈別表 10〉

③令和 4 年度の競技者育成プログラム実施のためガイドライン策定を検討した。

④競技者育成プログラムの制度について見直しを検討した。

⑤Step-1～3 については日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金の交付を受け、事業を実施した。

スポーツ振興くじ助成金 11,179,000 円

(2) ナショナルチーム、全日本アンダーチームの強化合宿を、日本オリンピック委員会より助成金の交付を受けて実施した。〈別表 11〉

日本オリンピック委員会 選手強化 NF 事業補助 22,529,000 円

感染症対策 2,840,000 円

新しい生活様式 193,000 円

- (3) 強化事業の拠点として「テニスパーク棚倉」を活用した。
- (4) 国際大会等、海外への選手等の派遣は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。
- (5) 強化スタッフの大会視察派遣を行った。〈別表 12〉
- (6) 新型コロナウイルス感染症予防のため、強化チームの合宿・練習に関する活動実施ガイドラインを策定した。
- (7) ナショナルチームおよび全日本アンダーチームの強化合宿においてアンチ・ドーピング教育のための講義、栄養指導およびメディカルチェックを行った。

2. ソフトテニスの指導者育成

指導者の資質と指導力の向上を図り、指導者の活動促進と指導体制の確立を図る事を目的に次の事業を行った。

- (1) 公認スポーツ指導者養成マニュアル改訂版を活用して指導者養成を行い、公認スポーツ指導者の拡大を図り、地域の普及活動を充実させた。
 - ①ソフトテニスコーチ1 北海道、埼玉県、茨城県、長野県、石川県、福岡県
 - ②ソフトテニスコーチ2 福島県
- (2) スタートコーチ養成事業の促進について取り組んだ。

実施支部：秋田県
- (3) (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度有資格者の増加にむけてマニュアルの改定や作成に取り組んだ。

Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、日本だけでなく他国においても大会開催ができる状況になく、選手や指導者派遣による国際交流、普及振興事業などは実施できなかった。

〔各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策〕

組織と財政の強化を行うことが「普及振興」「競技力向上」「国際振興」の各事業推進を支えるものであり、以下の事業を推進した。

1. 青少年の健全育成および環境の取り組み

- (1) スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進

スポーツマンとしての倫理教育を全国小学生・中学生・高校生指導者研修会で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。
- (2) 環境問題の取組
 - ①環境保全の在り方、3R(リデュース、リユース、リサイクル)運動の促進について検討した。
 - ②JOC 主催の「スポーツと環境カンファレンス2022」に参加し、スポーツと環境の関係について検討した。
- (3) マナーBOOK 普及方法

ハンドブックに抜粋版を掲載し、2級審判員講習会での活用を促進した。

2. 暴力根絶の徹底

「公益財団法人日本スポーツ協会及び加盟団体における倫理に関するガイドライン」に従い、「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」の精神に則り、暴力の根絶に向けた推進を行った。

3. 体制の強化

- (1) ガバナンスコードに基づいた組織運営を確保するため役員等の体制整備について検討を行った。
- (2) 加盟団体の組織運営においてガバナンスおよびコンプライアンスの強化を図れるよう、加盟団体規程の改訂について検討を行った。

4. 会員登録制度の推進

運営基盤の確立と競技人口把握のため、会員登録制度を推進した。

5. 財務計画の策定

財務委員会において財務の現状と将来予測、財務計画の策定について検討した。

6. 長期基本計画 2017(2017 年度～2021 年度)の推進

現行の長期基本計画 2017 を推進するとともに、2022 年度以降の長期基本計画(未来構想 2022～2041) および中期基本計画(2022～2026)を作成した。今後は関係する委員会と更なる連携をしながら検証・評価・見直しを進めていく。具体的事業として学校部活動と地域部活動との両立支援を掲げた。

〔庶務事項〕

1. 会議等の開催に関する事項

- (1) 評議員会〈別表 13〉
- (2) 理事会〈別表 14〉
- (3) 運営会議〈別表 15〉
- (4) 業務執行理事会議〈別表 16〉
- (5) 専門委員会・部会〈別表 17〉
- (6) 役員選考委員会〈別表 18〉
- (7) 会計監査〈別表 19〉

2. 役員・事務局職員等に関する事項 〈別冊:役員・職員等名簿〉

3. 会員登録に関する事項

会員登録数は〈別表 20〉のとおり。

4. 分担金に関する事項

- (1) 支部分担金 一律 150,000 円×50 支部 7,500,000 円
- (2) 会員登録料は〈別表 21〉のとおり。
- (3) 維持会費
 - ア. 公認メーカー 30 社:延 43 社 (前年度 48 社)〈別表 22〉
 - イ. 施設業者 7 社:延 8 社 (前年度 8 社)〈別表 23〉

ウ. 一般 100 件 計 1,340,000 円 (前年度 56 件 計 770,000 円)〈別表 24〉

5. 補助金・助成金等に関する事項

- | | |
|---------|---|
| (1) 補助金 | 合計額 27,555,124 円 (前年度 9,535,757 円)〈別表 25〉 |
| (2) 助成金 | 合計額 11,979,000 円 (前年度 1,389,500 円)〈別表 26〉 |
| (3) 交付金 | 合計額 3,775,000 円 (前年度 3,649,000 円)〈別表 27〉 |
| (4) 委託金 | 合計額 0 円 (前年度 441,660 円)〈別表 28〉 |

6. 協賛金・寄付金に関する事項

- | | |
|---------|---|
| (1) 協賛金 | 合計額 17,000,000 円 (前年度 2,500,000 円)〈別表 29〉 |
| (2) 寄付金 | 合計額 0 円 (前年度 100,000 円)〈別表 30〉 |

7. 傷害補償制度の給付金に関する事項

24 件、630,000 円を給付した。(前年度 25 件 1,004,000 円)〈別表 31〉

〈別表 1〉

主催大会	開催地	日程
第9回 アジア選手権大会日本代表予選会	福島県棚倉町	中止
第28回 全日本シングルス選手権大会	福島県棚倉町	中止
第2回 全日本ミックスダブルス選手権大会	愛媛県松山市	令和3年6月19日(土)・20日(日)
男子第66回・女子第65回 全日本実業団選手権大会	栃木県那須塩原市	令和3年7月23日(金)～25日(日)
第38回 全日本小学生選手権大会	千葉県白子町	中止
第49回 全日本社会人選手権大会	広島県広島市	中止
JOC ジュニアオリンピックカップ大会 第28回全日本ジュニア選手権大会	広島県広島市	中止
第25回 全日本シニア選手権大会	福島県会津若松市	中止
第76回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	和歌山県和歌山市	中止
第35回日本実業団リーグ	京都府福知山市	中止
第28回全日本クラブ選手権大会	千葉県白子町	中止
第39回日本リーグ	愛知県豊田市	中止
日本リーグ入替戦	広島県福山市	中止
第67回 全日本インドア選手権大会	大阪府大阪市	中止
2021 ソフトテニスチャンピオンズマッチ	大阪府大阪市	令和4年1月22日(土)・23日(日)
2022 年アジア競技大会最終候補選手選考会	福島県棚倉町	令和4年3月18日(金)～21日(月)
スポーツ拠点化事業	開催地	日程
第16回 ジュニアジャパンカップ 「競技者育成プログラム(Step-4)」	宮崎県宮崎市	中止
第33回都道府県対抗全日本中学生大会	三重県伊勢市	中止
第21回全国小学生大会	千葉県白子町	令和3年3月29日(月)～3月31日(水)

共催大会	開催地	日程
第50回ハイスクールジャパンカップ	北海道札幌市	令和3年6月23日(水)～6月27日(日)
西日本シニア選手権大会	香川県高松他	令和3年7月17日(土)～7月18日(日)
第76回東日本選手権大会	群馬県前橋市	令和3年7月17日(土)～7月18日(日)
第75回西日本選手権大会	長崎県長崎市	令和3年7月10日(土)～7月11日(日)
全日本高校選手権大会(男子)	石川県能登市	令和3年7月28日(水)～7月31日(土)
全日本高校選手権大会(女子)	石川県七尾市	令和3年8月1日(日)～8月4日(水)
第48回全日本レディース大会(個人戦)	群馬県前橋市	令和3年8月6日(金)～8月7日(土)
全日本学生選手権大会	福岡県福岡市 他	中止
第52回全国中学校大会	栃木県那須塩原市	令和3年8月17日(火)～8月19日(木)
第43回全日本レディース決勝大会(団体戦)	愛知県一宮市	中止
日本スポーツマスターズ 2021	岡山県備前市	中止
第76回 国民体育大会	三重県鈴鹿市	中止
第2回 平和カップひろしま国際大会	広島県広島市	令和3年3月12日(土)～13日(日)
第47回全日本高校選抜大会	愛知県名古屋	令和3年3月28日(月)～3月30日(水)

国際大会	開催地	日程
第29回日・韓・中ジュニア交流競技大会	韓国・済州	中止
第9回 アジア選手権大会	タイ・チェンマイ	延期

その他	開催地	日程
第33回ねりんピック2021	岐阜県瑞穂市他	中止

(注)大会参加者数は〈別表32〉に掲載

〈別表2〉

地域等における競技会開催補助

事業名	補助金額
9地区選手権大会	2地区×200,000円
地区高校選抜大会	9地区×100,000円
地区中学選手権大会	6地区×100,000円
全日本シニア東西対抗大会	400,000円
全日本学生同好会大会	200,000円

〈別表3〉

ナショナルチーム選手派遣事業(敬称略)

派遣先	期日	派遣選手名
宮崎県	令和3年12月18日・19日	芝崎百香、黒田奈穂子
新潟県	令和3年12月24日	林田和樹、徳川愛実、広岡宙、尾上胡桃
秋田県	令和4年1月15日・16日	久保晴華、早川日向

〈別表4〉

技術等級認定者数

(数値:名)

等級	名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	計
令和3年度	2	1	93	6	346	8	342	1,537	1,250	2,819	6,404
令和2年度	0	0	10	1	110	0	137	720	502	1,906	3,386

(注)令和3年度都道府県別認定者数は〈別表33〉に掲載

〈別表5〉

公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
マスターレフェリー	78	60	40	58	41	57
マスターアンパイヤー	62	72	87	62	80	85
1級	282	235	284	223	258	201
2級	新規(一般・高校)	19,274	18,488	17,421	16,689	11,455
	更新(一般)	5,051	5,490	5,036	5,274	5,361
	移行(高校)	8,069	8,193	8,606	8,149	7,461
ジュニア	40,171	35,524	36,721	36,068	24,594	34,879
計	72,987	68,062	68,195	66,523	49,250	61,850

(注)令和3年度都道府県別認定者数は〈別表34〉に掲載

〈別表6〉

1級審判員の検定会・研修会

	実施期日	会場	参加者
検定会	令和4年1月8日(土)、9日(日)	東京都・大森スポーツセンター	58人
	令和4年2月12日(土)、13日(日)	佐賀県・唐津市立浜玉中学校	中止

研修会	令和4年1月23日(日)	徳島県・徳島市B&G海洋センター	中止
	令和4年1月29日(土)	愛知県・邦和スポーツランド体育館	中止
	令和4年1月30日(日)	福井県・鯖江市西番スポーツセンター	中止
	令和4年1月30日(日)	島根県・島根県立体育館	中止
	令和4年1月30日(日)	熊本県・水俣市立総合体育館	中止
	令和4年2月11日(祝・金)	山形県・山形県総合運動公園	中止
	令和4年2月13日(日)	千葉県・千葉経済大学	中止
	令和4年2月23日(祝・水)	大阪府・大阪市立千島体育館	中止

〈別表7〉

ソフトテニスハンドブック、ジュニア審判マニュアル等

(数値:冊/枚)

年 度	ソフトテニス ハンドブック	採点票	オーダー票	イエローカード等	ジュニア審判 マニュアル
令和3年度	28,255	2,410	253	28,305	37,280
令和2年度	13,841	2,427	268	13,841	24,900

〈別表8〉

公認事業者名(用具用品)

	対象	公認メーカー
用具用品	ラケット 7社	カワサキ・ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・グローブライト・アルペン
	ボール 3社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
	ネット 10社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・テイエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易・カスミ
	ストリング 4社	ゴーセン・トアルソン・ヨネックス・ミズノ
	ユニフォーム 9社	カワサキ・ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン・アシックスジャパン・住友ゴム工業・グローブライト・プーマジャパン
	シューズ 10社	アシックスジャパン・ヨネックス・住友ゴム工業・ミズノ・グローブライト・ゴールドウィン・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・フォワードアパレルトレーディング・アルペン
施設・製造	砂入り人工芝 製造業者 7社	住友ゴム工業・積水樹脂・大塚ターフテック 東レアムテックス・ダイヤテックス・大嘉産業・泉州敷物
	人工クレーコート 製造業者 1社	大塚ターフテック

〈別表9〉

ラケットの証紙およびネット証布の発行

(数値:枚)

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ラケット証紙	359,560	378,710	314,180	333,465	237,580	331,570
ネット証布	2,700	3,000	2,150	3,030	2,200	2,550

〈別表10〉

競技者育成プログラム Step-3

ブロック名	期 日	参加 選手数	各支部 代表	ブロック別 指導者	ブロック 運営委員	データ 管 理	日本連盟 運営委員	総 計
北海道・東北(宮城県・仙台市)	9/10~9/12	開催中止						
関 東 (山 梨 県・笛 吹 市)	8/28~8/30							
北 信 越 (富 山 県・高 岡 市)	8/28~8/30							
東 海 (三 重 県・四 日 市 市)	8/28~8/30							
近 畿 (和 歌 山 県・和 歌 山 市)	8/28~8/30							
中 国 (広 島 県・三 次 市)	8/28~8/30							
四 国 (愛 媛 県・今 治 市)	8/28~8/30							
九 州 (熊 本 県・熊 本 市)	8/28~8/30							
合 計								

〈別表 11〉

(1) 日本代表チームおよびナショナルチーム(男子・女子)強化合宿

			期 日	スタッフ	選手	会場
ナショナル	男子	1☆	令和3年6月3日(木)～7日(月)	4	15	福島県・棚倉町
		2☆	令和3年10月28日(木)～11月1日(月)	4	15	福島県・棚倉町
		3☆	令和4年2月10日(木)～15日(火)	5	17	大阪府・大阪市
		4☆	令和4年3月3日(木)～8日(火)	5	18	大阪府・大阪市
	女子	1☆	令和3年6月25日(金)～28日(月)	5	13	福島県・棚倉町
		2☆	令和4年1月8日(土)～12日(水)	5	14	大阪府・大阪市
		3☆	令和4年2月8日(火)～13日(日)	5	14	大阪府・大阪市

(2) 全日本 U-14.U-17.U-20(男子、女子)強化合宿

			期 日	スタッフ	選手	会場
男子	U-20	1☆	令和3年4月17日(土)～21日(水)	4	11	福島県・棚倉町
		2☆	令和3年6月14日(月)～16日(水)	3	14	福島県・棚倉町
		3☆	令和4年3月23日(水)～26日(土)	4	13	福島県・棚倉町
	U-17	1☆	令和3年4月10日(土)～14日(水)	4	17	福島県・棚倉町
		2☆	令和4年2月22日(火)～26日(土)	5	17	福島県・棚倉町
	U-14	1☆	令和3年4月10日(土)～14日(水)	3	16	福島県・棚倉町
		2☆	令和4年2月19日(土)～22日(火)	5	20	福島県・棚倉町
女子	U-20	1☆	令和3年11月22日(月)～25日(木)	3	13	香川県・丸亀市 他
	U-17	1☆	令和3年4月18日(日)～22日(木)	3	18	福島県・棚倉町
		2☆	令和3年11月11日(木)～15日(月)	3	13	福島県・棚倉町
	U-14	1☆	令和3年4月18日(日)～22日(木)	4	17	福島県・棚倉町
		2☆	令和3年11月12日(金)～15日(月)	3	11	福島県・棚倉町

(注 1) ☆印は(公財)日本オリンピック委員会の補助事業である。

(選手強化事業 22,529,000 円、感染症対策 2,840,000 円)

〈別表 12〉

強化委員・強化スタッフの大会視察派遣(敬称略)

大会名	派遣者
全日本ミックスダブルス選手権大会	中堀成生、斉藤広宣、菅野創世
ハイスクールジャパンカップ	佐藤英宣、豊田雅孝
全国中学校大会	橋本康徳、松元誠二、松崎法夫
アジア競技大会最終候補選手選考会	中堀成生、川村達郎、齋藤広宣、菅野創世、高橋茂
全日本高校選抜大会	佐藤英宣、豊田雅孝

〈別表 13〉

評議員会

会議名	期日	会場
定時評議委員会	令和3年6月13日(日)	リモート会議(Cisco Webex)
臨時評議委員会	令和3年12月5日(日)	ワタキューセイモア(株)5階研修室/リモート(Cisco Webex)

〈別表 14〉

理事会

会議名	期日	会場
第1回理事会	令和3年4月28日(水)	決議の省略
第2回理事会	令和3年5月25日(火)	リモート会議(Cisco Webex)
第3回理事会	令和3年6月12日(土)	リモート会議(Cisco Webex)

第4回理事会	令和3年9月11日(土)	リモート会議(Cisco Webex)
第5回理事会	令和3年11月3日(水・祝)	ワタキューセイモア(株) 2階会議室/リモート(Cisco Webex)
第6回理事会	令和3年12月4日(土)	ワタキューセイモア(株) 2階会議室/リモート(Cisco Webex)
第7回理事会	令和4年2月26日(土)	リモート会議(Cisco Webex)

〈別表15〉
運営会議

回数	期日	会場
第1回	令和3年5月25日(火)	リモート会議(Cisco Webex)
第2回	令和3年9月4日(土)	リモート会議(Cisco Webex)
第3回	令和3年11月2日(火)	リモート会議(Cisco Webex)
第4回	令和3年12月4日(土)	リモート会議(Cisco Webex)
第5回	令和4年2月26日(土)	リモート会議(Cisco Webex)

〈別表16〉
業務執行理事会議

回数	期日	会場
第1回	令和3年4月10日(土)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第2回	令和3年5月22日(土)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第3回	令和3年7月10日(土)	(公財)日本ソフトテニス連盟 会議室
第4回	令和3年9月4日(土)	ワタキューセイモア株式会社 7階会議室
第5回	令和3年10月2日(土)	アワーズイン阪急 ツイン館 第8会議室
第6回	令和3年11月2日(火)	ワタキューセイモア株式会社 2階会議室C
第7回	令和3年12月3日(金)	ワタキューセイモア株式会社 2階会議室C
第8回	令和4年1月28日(金)	アワーズイン阪急 ツイン館 第8会議室

〈別表17〉

委員会・部会		開催日						
総務委員会		11/17						
企画委員会		4/8	10/2	10/22				
企画・国際 合同委員会		10/17						
財務委員会		10/17						
審判委員会		11/27						
競技委員会		4/10	9/12					
		プログラム編成部会	4/3	4/24	5/22	6/30	7/22	7/31
			2/27	3/26				
等級制度部会		6/15						
強化委員会		8/7	10/12					
		強化スタッフ部会	8/7					
		競技者育成プログラム部会	10/7					
指導者育成委員会		10/14						
生涯スポーツ委員会								
		小学生部会						
		シニア部会						
広報委員会		8/30						
		機関誌部会	4/6	5/6	6/1	7/5	8/3	9/4
			10/4	11/1	12/1	1/8	2/5	
会員登録委員会		8/7	2/23					
		中学生部会						
		高校生部会						

	大学生部会						
国際委員会	※企画との合同会議を開催						
医科学委員会	※各部会としての開催のみ						
	医学部会	11/11					
	アンチ・ドーピング部会	4/7	10/21	2/21			
	トレーナー部会	11/7	1/31				
	スポーツ科学部会	11/12	3/7				
ICT システム委員会		4/6	4/13	6/1	6/7	8/7	12/5
		2/8	2/24				
環境・教育委員会		10/20					
用具・用品・施設委員会		4/30	2/18				
危機管理委員会		5/3	8/29	12/19	1/29	2/20	

〈別表 18〉

役員選考委員会

会議名	期日	会場
役員選考委員会	令和 4 年 2 月 22 日 (火)	リモート (Cisco Webex)

〈別表 19〉

会計監査

対象	期日	会場
公認会計士 監査	令和 3 年 5 月 18 日	リモート (Cisco Webex)
	令和 4 年 1 月 24 日	リモート (Cisco Webex)
日本連盟監事 監査	令和 3 年 5 月 19 日	リモート (Cisco Webex)
	令和 4 年 2 月 19 日	リモート (Cisco Webex)

〈別表 20〉

会員登録数(10 年間の推移)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
令和3年度	11,300	41,364	15,566	225,592	72,367	868	7,256	374,313
令和2年度	10,763	40,388	15,163	169,625	62,730	702	6,408	305,779
令和元年度	11,713	44,799	18,101	247,103	79,834	933	7,591	410,074
平成30年度	11,543	45,457	18,720	253,099	83,464	1,014	7,614	420,911
平成29年度	11,278	46,143	19,568	268,007	85,176	1,069	7,876	439,117
平成28年度	11,073	46,346	19,728	280,857	85,632	1,037	7,945	452,618
平成27年度	10,572	46,683	19,412	288,530	84,365	1,023	7,690	458,275
平成26年度	9,963	47,230	17,566	289,506	82,964	1,056	7,669	455,954
平成25年度	9,268	48,324	17,260	286,326	81,402	1,037	7,610	451,227
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900

(注)都道府県別会員数は 〈別表 35〉に掲載。

〈別表 21〉

会員登録料

(単位:円)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
令和 3 年度	11,300,000	41,364,000	7,783,000	112,796,000	36,183,500	434,000	3,628,000	213,488,500
令和 2 年度	10,763,000	40,388,000	7,581,500	84,812,500	31,365,000	351,000	3,204,000	178,465,000
令和元年度	11,713,000	44,799,000	9,050,500	123,551,500	39,917,000	466,500	3,795,500	233,293,000

〈別表 22〉

維持会費 公認メーカー30 社:延 43 社(前年度 48 社)

(単位:円)

	ラケット	ボール	ネット	ストリング	ユニフォーム	シューズ
令和 3 年度	7 社	3 社	10 社	4 社	9 社	10 社
	700,000	8,280,000	1,000,000	2,640,000	10,440,000	4,800,000
令和 2 年度	7 社	3 社	10 社	4 社	12 社	12 社
	700,000	8,280,000	1,000,000	2,640,000	13,920,000	5,760,000

〈事業者名〉

用具・用品	公認メーカー
ラケット 7 社	カワサキ・ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・グローブライト・アルペン
ボール 3 社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
ネット 10 社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・テイエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易・カスミ
ストリング 4 社	ゴーセン・トアルソン・ヨネックス・ミズノ
ユニフォーム 9 社	カワサキ・ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン・アシックスジャパン・住友ゴム工業・グローブライト・プーマジャパン
シューズ 10 社	アシックスジャパン・ヨネックス・住友ゴム工業・ミズノ・グローブライト・ゴールドウィン・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・フワードアパレルトレーディング・アルペン

〈別表 23〉

維持会費 施設業者 7 社:延べ 8 社(前年度 8 社)

(単位:円)

年 度	砂入り人工芝		人工クレーコート	
令和 3 年度	7 社	3,500,000	1 社	500,000
令和 2 年度	7 社	3,500,000	1 社	500,000

〈事業者名〉

施設・製造	業 者 名
砂入り人工芝製造業者 7 社	住友ゴム工業・積水樹脂・大塚ターフテック・東レアムテックス・ダイヤテックス・大嘉産業・泉州敷物
人工クレーコート製造業者 1 社	大塚ターフテック

〈別表 24〉

維持会費 一般 100 件 計 1,340,000 円 (前年度 56 件 計 770,000 円)

(単位:円) (敬称略)

100,000	アキム株式会社							
50,000	安道光二	京都	内田昌一	京都				
30,000	栗原 博	埼玉						
20,000	石川県連盟		共和(株)		(株)ゴーセン		佐伯義春	佐賀
	埼玉県連盟		静岡県連盟		スポーツインテリジェンス(株)		大嘉産業(株)	
	栃木県連盟		ミズノ(株)		明宏印刷(株)		(有)ミセキネット	
	三田倶楽部		(株)ルーセント		米山 勉	東京		
10,000	天野晴夫	三重	安藤 清	岐阜	安藤正美	香川	石岡重光	京都
	池田征弘	京都	石川雅利	千葉	井田博史	東京	井上清一	石川
	井上 創	兵庫	井上光子	千葉	今井誠則	広島	上田竜次	京都
	上野 渉	石川	上山親子	大阪	運上琢論	北海道	大野勝敏	埼玉
	大房裕司	中体連	大前秀樹	広島	岡村勝幸	山梨	小川信也	岐阜

	小田宗雄	熊本	越智克昌	愛媛	越智 朗	愛媛	小野尚彦	岡山
	鍵紀代子	宮城	鍵 茂	宮城	笠井達夫	神奈川	加藤育広	秋田
	金岡昭房	宮城	川西 斎	奈良	神崎公宏	三重	蒲原英敏	広島
	北村和久	三重	北本英幸	石川	木下道夫	東京	木原晴彦	広島
	小林 正	静岡	小原信幸	岡山	斉藤元三	愛知	篠邊 保	愛知
	佐藤栄一	群馬	佐藤健司	東京	椎名顕子	愛媛	重田 衛	千葉
	重平静洋	岡山	白幡 光	山形	白水厚二	大分	関川丈彦	新潟
	高梨憲爾	神奈川	玉木 進	東京	丹崎健一	東京	千田眞一	愛知
	津田 誠	愛知	寺園 罔順	宮崎	鳥羽敬子	三重	ナガセケンコー(株)	
	長岡敏久	埼玉	中村 進	埼玉	中村正広	福岡	永井茂樹	石川
	西村信寛	東京	藤島淑子	神奈川	普天間富士子	沖縄	笛岡宣明	愛知
	星野 博	東京	堀越 浩	千葉	本田茂雄	宮城	正岡義晶	愛媛
	増木博一	京都	水野明人	大阪	宮下恭子	大阪	宮田 勤	岩手
	森田賢二	兵庫	柳下秋久	東京	柳田昌作	東京	山下晴海	埼玉
	山本 毅	京都	横山隆二	東京	吉田博紀	熊本	萬 正一	秋田
	和歌浦京子	新潟						

〈別表 25〉

補助金 合計額 27,555,124 円 (前年度 9,535,757 円)

(単位:円)

(公財)日本オリンピック委員会	選手強化事業	22,529,000
(公財)日本オリンピック委員会	感染症対策事業	2,840,000
(公財)日本オリンピック委員会	新しい生活様式での選手強化活動事業	193,000
スポーツ庁	スポーツイベントの再開支援事業(一次)	335,160
スポーツ庁	スポーツイベントの再開支援事業(二次)	1,657,964

〈別表 26〉

助成金 合計額 11,979,000 円 (前年度 1,389,500 円)

(単位:円)

(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興基金助成金)	競技会開催(全日本選手権大会) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
	競技会開催(全日本ジュニア選手権大会) ※新型コロナウイルス感染症の影響により事業変更	0
	小計	0
(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興くじ)	競技者育成プログラム(Step-1～Step-3) ※Step-1,2 一部の支部が新型コロナウイルス感染症の影響により中止	11,179,000
	※Step-3 は新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止	
	ドーピング防止啓発活動推進 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
	小計	
国民体育大会実行委員会	国民体育大会役員旅費 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
(公財)ヨネックススポーツ財団	ジュニアスポーツ振興事業助成金	800,000
(公財)ミズノスポーツ振興財団	ジュニア育成に対する助成金 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0

〈別表 27〉

交付金 合計額 3,775,000 円 (前年度 3,649,000 円) (単位:円)

(公財)日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム交付金	3,775,000
	JOC ジュニア選手強化交付金 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ運営補助交付金 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0

〈別表 28〉

委託金 合計額 0 円 (前年度 441,660 円) (単位:円)

(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ委託金 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0
--------------	---	---

〈別表 29〉

協賛金 合計額 17,400,000 円 (前年度 2,500,000 円) (単位:円)

ヨネックス(株) オフィシャルサプライヤー協賛金(ユニフォーム、ストリング)	17,000,000
ナガセケンコー(株) チャンピオンズマッチ協賛金	100,000
(株)GO チャンピオンズマッチ協賛金	300,000

〈別表 30〉

寄付金 合計額 0 円 (前年度 100,000 円)

〈別表 31〉

傷害補償制度の給付金対象件数

24 件、630,000 円を給付した。(前年度:25 件 1,004,000 円) (単位:件)

年度	アキレス腱断裂	骨折	靱帯損傷	肉離れ	捻挫	その他	死亡	計
令和 3 年度	6	7	3	2	4	2	0	24
令和 2 年度	4	8	2	2	4	5	0	25

〈内訳〉

(単位:件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	6	0	0	0	0	0	6
骨折	6	0	0	0	1	0	7
靱帯損傷	3	0	0	1	0	0	3
肉離れ	2	0	0	0	0	0	2
捻挫	4	0	0	0	0	0	4
その他	2	0	0	0	0	0	2
死亡	0	0	0	0	0	0	0
計	22	0	0	1	1	0	24

〈別表32〉
大会一覧表

月	日	大会名	種別	会場	参加者数
6	19・20	第2回全日本ミックスダブルス選手権大会	一般	愛媛県松山市	202
			35歳	愛媛県総合運動公園テニスコート他	50
			45歳		40
			50歳		76
			55歳		58
			60歳		64
			65歳		66
			70歳		30
			小計		586
			小計		0
8	26・27	第9回アジア選手権大会 日本代表予選会	男子ダブルス	福島県棚倉町	中止
			女子ダブルス	テニスパーク棚倉	
			小計		0
			小計		0
			小計		0
			小計		0
			小計		0
			小計		0
			小計		0
			小計		0
9	23～25	男子第66回・女子第65回 全日本実業団選手権大会	男子団体	栃木県那須塩原市	776
			女子団体	石川スポーツグラウンドくろいそ	144
			小計		920
			小計		920
			小計		920
			小計		920
			小計		920
			小計		920
			小計		920
			小計		920
9	4・5	第48回 全日本社会人選手権大会	一般男子ダブルス	広島県広島市・尾道市 他	中止
			一般女子ダブルス	広島翔洋テニスコート他	
			男子ダブルス35		
			女子ダブルス35		
			男子ダブルス45		
			女子ダブルス45		
			小計		0
			小計		0
			小計		0
			小計		0
9	6～10	全日本学生選手権大会 第75回文部科学大臣杯(大学対抗) 第76回三笠宮賜杯(ダブルス)	男子大学対抗	福岡県福岡市・春日市・久留米市	中止
			女子大学対抗		
			男子ダブルス		
			女子ダブルス		
			小計		0
			小計		0
			小計		0
			小計		0
			小計		0
			小計		0
9	18・19	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第28回全日本ジュニア選手権大会	男子シングルス(U-14)	広島県広島市	中止
			女子シングルス(U-14)	広島翔洋テニスコート	
			男子シングルス(U-17)		
			女子シングルス(U-17)		
			男子シングルス(U-20)		
			女子シングルス(U-20)		
			男子ダブルス(U-14)		
			女子ダブルス(U-14)		
			男子ダブルス(U-17)		
			女子ダブルス(U-17)		
9	25・26	第25回 全日本シニア選手権大会	男子ダブルス50	福島県会津若松市他	中止
			女子ダブルス50		
			男子ダブルス55		
			女子ダブルス55		
			男子ダブルス60		
			女子ダブルス60		
			男子ダブルス65		
			女子ダブルス65		
			男子ダブルス70		
			小計		0

			女子ダブルス70		
			男子ダブルス75		
			女子ダブルス75		
			男子ダブルス80		
			女子ダブルス80		
			混合 ダブルス50		
			混合 ダブルス55		
			混合 ダブルス60		
			混合 ダブルス65		
			混合 ダブルス70		
			小計		0
10	22～24	第76回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	男子ダブルス	和歌山県和歌山市	中止
			女子ダブルス		
			小計		0
	29～31	第35回 日本実業団リーグ	男子団体	京都府福知山市	中止
			女子団体	福知山市三段池公園テニスコート	
			小計		0
10	30・31	第28回 全日本クラブ選手権大会	男子団体	千葉県白子町	中止
			女子団体	千葉県白子町サニーテニスコート	
			小計		0
11	6・7	第28回 全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	福島県棚倉町	中止
			女子シングルス	テニスパーク棚倉	
			小計		0
	12～15 女子	第16回 ジュニアジャパンカップ	男子シングルス(U-14)	宮崎県宮崎市	中止
			女子シングルス(U-14)	生目の杜運動公園テニスコート	
	26～29 男子		男子シングルス(U-17)	宮崎市清武総合公園	
			女子シングルス(U-17)		
			男子シングルス(U-20)		
			女子シングルス(U-20)		
			男子ダブルス(U-14)		
			女子ダブルス(U-14)		
			男子ダブルス(U-17)		
			女子ダブルス(U-17)		
			男子ダブルス(U-20)		
			女子ダブルス(U-20)		
			小計		0
12	9～12	第39回 日本リーグ	男子団体	愛知県豊田市	中止
			女子団体	スカイホール豊田	
			小計		0
	24～26	日本リーグ入替戦	男子団体	広島県福山市	中止
			女子団体	エフピコアリーナふくやま	
			小計		0
1	23	第67回 全日本インドア選手権大会 ＊参加資格選手を選出できないため中止	男子ダブルス	大阪府大阪市	中止
			女子ダブルス	丸善インテックアリーナ大阪	
			小計		0
	23	2021ソフトテニスチャンピオンズマッチ	男子	大阪府大阪市	16
			女子	丸善インテックアリーナ大阪	16
			小計		32
3	18～21	2022年アジア競技大会最終候補選手選考会	男子ダブルス	福島県棚倉町	82
			女子ダブルス	テニスパーク棚倉	86
			小計		168
	26～28	第33回 都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	三重県伊勢市	中止
			女子団体	三重県営サンアリーナ	
			男子ダブルス	伊勢市市営庭球場	
			女子ダブルス		
			男子シングルス		
			女子シングルス		
			小計		0

	29～31	第21回 全国小学生大会	男子の部	千葉県白子町	360
			女子の部		360
			小計		720

月	日	共催大会名	種別	会場	参加者数
6	26・27	第50回 ハイスクールジャパンカップ	男子ダブルス	北海道札幌市	144
			女子ダブルス	円山庭球場	144
			男子シングルス		64
			女子シングルス		64
			小計		416
	10.11	第75回 西日本選手権大会	一般男子	長崎県長崎市	376
7			一般女子	長崎市総合運動公園かきどまり庭球場	226
			男子35	長崎市営庭球場	66
			女子35		12
			男子45		66
			女子45		18
			小計		764
	17・18	第76回 東日本選手権大会	一般男子	群馬県前橋市	616
			一般女子	ALSOKぐんま総合スポーツセンターテニスコート	302
			男子35	前橋総合運動公園テニスコート	140
			女子35	群馬県立敷島公園テニスコート	46
			男子45	高崎市上並榎庭球場	90
			女子45		46
			シニア男50		110
			シニア女50		62
			シニア男55		110
			シニア女55		58
			シニア男60		102
			シニア女60		66
			シニア男65		118
			シニア女65		80
			シニア男70		98
			シニア女70		64
			シニア男75		58
			シニア女75		40
			シニア男80		30
			シニア女80		30
			小計		2,266
	17・18	西日本シニア選手権大会	シニア男50	鹿児島県	60
			シニア女50	鹿児島市東開庭球場	48
			シニア男55	知覧テニスの森公園	56
			シニア女55		28
			シニア男60		96
			シニア女60		56
			シニア男65		106
			シニア女65		54
			シニア男70		60
			シニア女70		44
			シニア男75		32
			シニア女75		24
			シニア男80		24
			シニア女80		12
			小計		700
	7/28～ 31 男子	全日本高等学校選手権大会	男子個人	石川県能都町(男子)	628
			男子団体	県立能都健民テニスコート	384
			女子個人	石川県七尾市(女子)	632
			女子団体	和倉温泉運動公園テニスコート	384
	8/1～4 女子		小計		1,016

8	6・7	第48回 全日本レディース大会(個人戦)	ふじ(初心者)	群馬県前橋市	56
			すみれ(満18歳以上)	ALSOKぐんま総合スポーツセンターテニスコート	18
			ばら(35歳以上)	前橋総合運動公園テニスコート	36
			ゆり(45歳以上)	群馬県立敷島公園テニスコート	128
			きく(55歳以上)		72
			あやめ(60歳以上)		132
			はぎ(65歳以上)		124
			さつき(70歳以上)		156
			さくら(75歳以上)		86
			もも(80歳以上)		72
			小計		880
	17～19	第52回全国中学校大会	男子個人	栃木県那須塩原市	128
			女子個人	石川スポーツグラウンドくろいそ	128
			男子団体		200
			女子団体		200
			小計		656
	24～26	第43回 全日本レディース決勝大会(団体戦)	都道府県対抗	愛知県一宮市 一宮市テニス場	中止
10	9/30～10/4	第76回 国民体育大会	少年男子	三重県鈴鹿市	中止
			少年女子		
			成年男子		
			成年女子		
			小計		0
3	12・13	第2回 平和カップひろしま国際大会	男子団体	広島県広島市	672
			女子団体	広島翔洋テニスコート	324
				リョーコーテニスコート	
			小計		996
	28～30	第47回 全日本高校選抜大会	男子団体	愛知県名古屋市	288
			女子団体	日本ガイシホール	288
			小計		576

〈別表33〉

技術等級認定実績

令和4年3月31日現在

支部名	名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	合計
1 北海道	0	0	7	0	18	1	9	45	18	1	99
2 青森県	0	0	2	0	6	0	0	2	39	20	69
3 岩手県	0	0	0	0	4	0	19	13	7	0	43
4 宮城県	0	0	9	0	9	0	5	29	10	0	62
5 秋田県	0	0	0	0	11	0	6	4	14	0	35
6 山形県	0	0	2	0	6	0	2	8	61	5	84
7 福島県	0	0	0	0	6	0	12	17	36	0	71
8 茨城県	0	0	0	0	0	0	4	61	23	4	92
9 栃木県	0	0	2	0	5	0	0	53	38	38	136
10 群馬県	2	1	0	0	5	4	7	56	23	81	179
11 埼玉県	0	0	1	1	7	3	25	138	80	105	360
12 千葉県	0	0	0	0	10	0	2	12	27	5	56
13 東京都	0	0	4	0	3	0	11	25	30	17	90
14 神奈川県	0	0	0	0	8	0	31	112	32	0	183
15 山梨県	0	0	0	0	10	0	18	53	47	98	226
16 新潟県	0	0	0	0	7	0	12	26	12	0	57
17 長野県	0	0	0	0	3	0	4	12	33	1,632	1,684
18 富山県	0	0	3	0	7	0	1	20	4	18	53
19 石川県	0	0	2	0	16	0	6	8	11	22	65
20 福井県	0	0	1	0	0	0	0	9	18	15	43
21 静岡県	0	0	0	2	6	0	7	38	31	0	84
22 愛知県	0	0	1	2	11	0	17	52	47	117	247
23 三重県	0	0	2	0	7	0	4	17	16	8	54
24 岐阜県	0	0	0	0	6	0	12	21	18	12	69
25 滋賀県	0	0	0	0	9	0	8	11	5	0	33
26 京都府	0	0	5	0	3	0	4	25	19	0	56
27 大阪府	0	0	4	0	12	0	4	58	14	4	96
28 兵庫県	0	0	2	0	3	0	3	59	11	11	89
29 奈良県	0	0	4	0	5	0	2	3	8	0	22
30 和歌山県	0	0	3	0	13	0	2	73	0	0	91
31 鳥取県	0	0	2	0	4	0	2	4	0	4	16
32 島根県	0	0	0	0	3	0	2	4	0	6	15
33 岡山県	0	0	0	0	11	0	3	49	13	0	76
34 広島県	0	0	3	1	4	0	8	60	59	17	152
35 山口県	0	0	0	0	4	0	12	89	24	4	133
36 徳島県	0	0	0	0	2	0	10	6	15	0	33
37 香川県	0	0	3	0	10	0	0	2	12	0	27
38 愛媛県	0	0	3	0	4	0	4	6	18	28	63
39 高知県	0	0	0	0	3	0	3	1	0	5	12
40 福岡県	0	0	3	0	7	0	1	7	18	0	36
41 佐賀県	0	0	0	0	1	0	0	0	22	0	23
42 長崎県	0	0	0	0	0	0	10	17	29	6	62
43 熊本県	0	0	0	0	3	0	18	85	171	534	811
44 大分県	0	0	2	0	12	0	4	17	27	0	62
45 宮崎県	0	0	0	0	3	0	1	49	89	0	142
46 鹿児島県	0	0	0	0	5	0	3	9	13	0	30
47 沖縄県	0	0	0	0	3	0	0	1	8	0	12
48 日本学連	0	0	23	0	51	0	24	71	0	0	169
合計	2	1	93	6	346	8	342	1,537	1,250	2,817	6,402
前年度	0	0	10	1	110	0	137	720	502	1,906	3,386

公認審判員認定実績

令和4年3月31日現在

No	支部	認定者数									合計
		マスター レフェリー	マスター アンパイ ヤー	1級審判員		2級審判員				ジュニア	
				新規	更新	一般	高校	一般	高校		
						新規		更新	Jr移行		
1	北海道	4	3	0	6	77	174	191	542	1,913	2,910
2	青森県	0	0	0	2	55	171	110	84	120	542
3	岩手県	0	0	0	8	64	46	146	381	1,189	1,834
4	宮城県	0	0	0	5	53	300	157	507	1,367	2,389
5	秋田県	1	0	0	11	54	36	45	192	728	1,067
6	山形県	5	0	0	6	63	28	71	274	973	1,420
7	福島県	0	0	0	3	65	69	83	375	1,836	2,431
8	茨城県	3	0	0	5	215	549	121	114	127	1,134
9	栃木県	1	0	0	6	164	337	94	89	169	860
10	群馬県	0	9	0	5	18	10	101	18	83	244
11	埼玉県	2	6	0	6	243	682	605	709	2,154	4,407
12	千葉県	3	0	0	5	150	406	226	528	4,685	6,003
13	東京都	2	34	0	2	112	73	200	49	66	538
14	神奈川県	5	0	0	4	121	71	97	364	6841	7,503
15	山梨県	1	1	0	5	44	175	62	51	120	459
16	新潟県	0	5	0	6	59	79	83	288	1,943	2,463
17	長野県	1	1	0	4	75	363	174	39	102	759
18	富山県	1	0	0	2	72	251	31	23	19	399
19	石川県	1	3	0	1	47	116	69	195	1,034	1,466
20	福井県	0	0	0	6	10	90	20	26	27	179
21	静岡県	0	7	0	9	175	90	245	361	3,199	4,086
22	愛知県	1	2	0	9	194	967	240	120	110	1,643
23	三重県	0	0	0	8	31	89	54	46	111	339
24	岐阜県	0	0	0	7	32	441	88	97	124	789
25	滋賀県	2	0	0	4	11	377	36	41	110	581
26	京都府	1	0	0	4	38	400	91	48	41	623
27	大阪府	1	0	0	6	63	214	167	32	56	539
28	兵庫県	0	0	0	3	121	35	135	12	146	452
29	奈良県	0	0	0	0	51	269	120	19	13	472
30	和歌山県	0	0	0	0	74	23	59	18	1	175
31	鳥取県	0	0	0	7	12	4	24	23	50	120
32	島根県	4	0	0	1	9	177	56	36	70	353
33	岡山県	3	9	0	8	53	382	47	54	112	668
34	広島県	0	0	0	2	39	594	161	40	36	872
35	山口県	3	0	0	1	43	250	135	85	59	576
36	徳島県	2	0	0	0	20	119	19	34	27	221
37	香川県	2	0	0	1	11	155	35	39	87	330
38	愛媛県	1	1	0	3	54	155	111	122	249	696
39	高知県	0	1	0	2	2	125	21	36	5	192
40	福岡県	2	0	0	1	115	303	141	96	100	758
41	佐賀県	2	1	0	1	28	27	48	137	946	1,190
42	長崎県	0	1	0	8	149	68	137	281	1,089	1,733
43	熊本県	0	0	0	6	31	3	62	343	1,356	1,801
44	大分県	0	1	0	1	31	57	50	201	1,179	1,520
45	宮崎県	1	0	0	4	39	110	53	81	70	358
46	鹿児島県	2	0	0	7	64	67	133	48	30	351
47	沖縄県	0	0	0	0	13	3	34	20	7	77
48	日本学連	0	0	0	0	659	0	669	0	0	1,328
合計		57	85	0	201	3,923	9,530	5,857	7,318	34,879	61,850
前年度		41	80	75	183	2,419	9,036	5,361	7,461	24,594	49,250

会員登録集計表(令和3年度)

令和4年3月31日現在

支部名	指導者	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合 計	
	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	309	163	1,701	39	471	245	6,064	139	2,753	4	92	1	14	591	11,404
青森県	261	52	484	18	241	88	2,733	42	805	1	19	1	12	202	4,555
岩手県	325	56	861	32	460	117	3,348	63	1,380	1	22	0	9	269	6,405
宮城県	96	84	818	22	432	150	3,597	75	2,247	2	12	3	84	336	7,286
秋田県	255	35	454	19	345	72	2,040	35	708	1	28	0	6	162	3,836
山形県	181	44	549	20	335	68	2,079	39	964	1	10	1	20	173	4,138
福島県	357	70	550	36	490	147	4,835	63	1,385	1	17	0	2	317	7,636
茨城県	617	67	802	26	511	210	9,629	80	2,061	1	6	0	11	384	13,637
栃木県	229	37	623	17	375	102	3,275	49	1,245	0	27	0	8	205	5,782
群馬県	194	48	799	24	536	134	4,820	44	975	1	10	0	4	251	7,338
埼玉県	276	207	3,650	36	883	380	17,124	123	3,868	0	1	0	251	746	26,053
千葉県	769	111	1,727	22	492	332	15,331	118	2,961	1	7	0	21	584	21,308
東京都	131	141	2,905	23	366	158	3,391	164	3,927	1	3	0	65	487	10,788
神奈川県	631	87	959	18	386	353	18,181	127	2,876	0	0	0	7	585	23,040
山梨県	86	49	447	14	249	50	736	29	740	0	0	0	12	142	2,270
新潟県	179	57	737	26	409	148	3,821	58	1,104	1	7	0	6	290	6,263
長野県	149	34	1,255	16	253	115	3,364	64	1,211	1	15	0	16	230	6,263
富山県	155	24	315	16	266	57	1,817	30	811	0	2	0	4	127	3,370
石川県	63	46	568	19	310	65	3,031	37	943	1	2	1	41	169	4,958
福井県	44	29	298	5	130	28	861	15	486	1	19	0	1	78	1,839
静岡県	724	131	1,457	33	702	308	10,934	79	1,353	1	15	3	36	555	15,221
愛知県	240	159	2,470	23	571	329	15,249	140	4,783	0	43	0	7	651	23,363
三重県	111	49	507	15	306	136	5,482	46	1,210	1	6	0	8	247	7,630
岐阜県	54	60	761	27	428	245	4,862	47	1,571	0	0	0	12	379	7,688
滋賀県	98	30	365	13	293	65	675	37	1,261	0	0	0	5	145	2,697
京都府	120	82	729	14	289	71	1,308	52	1,456	0	0	0	5	219	3,907
大阪府	298	83	1,331	11	170	295	9,998	178	2,896	0	0	0	0	567	14,693
兵庫県	274	81	1,415	28	470	301	14,071	144	4,488	2	38	0	2	556	20,758
奈良県	127	30	778	9	131	67	2,486	27	864	0	1	0	0	133	4,387
和歌山県	204	51	669	18	247	100	2,720	30	783	1	31	0	0	200	4,654
鳥取県	60	33	314	11	134	32	653	21	463	1	8	0	0	98	1,632
島根県	81	42	311	11	212	45	1,526	40	780	1	0	0	0	139	2,910
岡山県	145	57	489	16	228	139	5,254	64	1,900	1	26	2	20	279	8,062
広島県	288	124	1,285	13	167	129	3,874	95	2,436	2	27	0	62	363	8,139
山口県	161	66	1,138	9	266	105	4,053	50	1,459	3	72	1	17	234	7,166
徳島県	169	22	262	7	116	87	1,765	21	459	1	24	0	2	138	2,797
香川県	60	25	325	14	241	51	1,868	29	617	2	18	0	0	121	3,129
愛媛県	150	42	637	13	281	123	3,232	59	1,162	1	48	0	8	238	5,518
高知県	59	27	305	10	95	26	678	21	358	1	5	0	24	85	1,524
福岡県	638	80	1,005	17	230	191	6,212	135	2,335	4	64	0	43	427	10,527
佐賀県	217	30	335	17	300	70	2,161	37	679	0	0	0	1	154	3,693
長崎県	449	61	812	19	318	138	3,645	100	1,528	1	20	0	55	319	6,827
熊本県	424	68	776	22	358	132	3,872	56	1,116	2	33	1	26	281	6,605
大分県	166	58	534	14	218	93	1,932	27	722	0	16	0	13	192	3,601
宮崎県	312	58	410	28	378	155	2,823	40	804	1	10	0	1	282	4,738
鹿児島県	306	105	903	40	388	162	3,652	75	1,090	2	40	0	11	384	6,390
沖縄県	55	40	537	8	89	28	530	24	340	0	3	2	33	102	1,587
日本学連	3	0	2	0	0	0	0	0	4	0	21	409	6,271	409	6,301
合 計	11,300	3,135	41,364	908	15,566	6,642	225,592	3,068	72,367	47	868	425	7,256	14,225	374,313
令和2年度	10,763	3,073	40,388	885	15,163	6,311	169,625	3,061	62,730	41	702	409	6,408	13,780	305,779
令和元年度	11,713	3,235	44,799	913	18,101	6,970	247,103	3,188	79,834	48	933	434	7,591	14,788	410,074

令和3年度表彰者名簿

本部功労者

日本連盟理事	白水 厚二
--------	-------

支部功労者・優良団体

	支 部 名	支 部 功 労 者	支 部 功 労 者	優 良 団 体
1	北 海 道	恩 村 一 郎	上 徳 善 也	美唄ソフトテニス連盟
2	青 森	船 水 宏 二	片 岡 勝	北友クラブ
3	岩 手	加 藤 佳 代	山 田 雅 宏	岩手県洋野町立中野中学校
4	宮 城	柴 田 裕 之	八 柳 尚 武	宮城県大河原商業高等学校ソフトテニス部
5	秋 田	古 舘 友 榮	工 藤 浩 光	仙北市ソフトテニス連盟
6	山 形	高 橋 健 一	遠 田 順 子	鶴岡地区ソフトテニス連盟
7	福 島	小 形 義 元	伊 藤 晴 稔	しらかわジュニア
8	茨 城	豊 田 裕 樹	高 倉 理 美	水戸女子高等学校
9	栃 木	釜 島 秀 治	大 平 功	BCファイターズ
10	群 馬	茂 木 憲 司	都 木 均	おおたSAJ
11	埼 玉	浜 野 隆 志	保 高 智	よの軟庭会
12	千 葉	大 野 信 郎	薮 崎 秀 一	
13	東 京	伊 藤 英 巳	落 合 千 春	横河電機
14	神 奈 川	増 田 大 吾	鷹 野 克 彦	御所見クラブ
15	山 梨	程 原 久 幸		都留クラブジュニアソフトテニス
16	新 潟	湯 澤 一 彦	猪 俣 宏	新潟市立巻東中学校
17	長 野	松 田 春 枝		松本市役所 ソフトテニス部
18	富 山	渋谷 圭 祐	長 田 恵 子	
19	石 川	中 田 雄 治		石川県立能登高等学校
20	福 井	仲 井 太	隅 田 俊 一 郎	アドバンテージ・福井
21	静 岡	小 野 康 弘	伊 藤 公 祐	EASTC
22	愛 知	加 藤 健 治	伊 藤 三 郎	
23	三 重	打 田 憲 司	佐々木 啓 二	近畿大学工業高等専門学校男子ソフトテニス部
24	岐 阜	佐 野 邦 子	渡 邊 輝 幸	ソフトテニス 土曜会
25	滋 賀	赤 田 洋 子		滋賀県庁ソフトテニスクラブ
26	京 都	原 和 道	神 社 啓 明	京都光華高校
27	大 阪	小 森 稔 信	青 木 智 子	茨木クラブ
28	兵 庫	津 乗 弘 美	窪 川 純 子	高丘クラブ
29	奈 良	松 下 直 示	早 野 一 晃	高田商OBクラブ
30	和 歌 山	坂 東 あ つ み	池 下 明 子	新宮ソフトテニススポーツ少年団
31	鳥 取			ナイスクラブ
32	島 根	熊 谷 修 山		
33	岡 山	難 波 美 樹		備前市ソフトテニス連盟
34	広 島	地 割 唯 雄	八 谷 摩 里	呉STC
35	山 口	永 田 雅 世	岩 本 正 人	徳山ソフトテニスクラブ
36	徳 島	渡 辺 将 司		吉野川市立川島中学校
37	香 川	富 田 司		
38	愛 媛	津 吉 将 人		NTT-OBソフトテニスクラブ
39	高 知	西 森 隼 也	宮 地 正 義	明德義塾中学校 男子ソフトテニス部
40	福 岡	湯 田 純 孝	富 永 勝 年	福岡市ジュニアソフトテニス教室
41	佐 賀	森 田 保 也	公 門 武 敏	桜ジュニア
42	長 崎	林 田 英 明	崎 田 京 子	
43	熊 本	何 川 義 博	田 代 昭 三 郎	ルーテル学院高等学校
44	大 分	酒 井 通 義	磯 部 幸 彦	
45	宮 崎	西 岡 由 美 子	末 永 タ マ キ	
46	鹿 児 島	堂 免 善 勝	唐 仁 原 功 英	伊集院ジュニアソフトテニスクラブ
47	沖 縄	田 端 一 正	長 堂 嘉 明	八重山高等学校 ソフトテニス部
48	日 本 学 連			
49	高 体 連			上宮高等学校 男子ソフトテニス部
50	中 体 連	高 橋 茂	伊 野 波 裕 美	
合 計		85名		40団体

(敬称略)

《別冊》

役員・職員等に関する名簿

令和4年3月31日現在

【名誉会長・名誉副会長・顧問・参与】

〔顧問〕 笠井 達夫 北村 和久 小原 信幸 西村 信寛 本田 茂雄

〔参与〕 重田 衛 星 久美 水野 明人 米山 勉 田淵 光仁
川島 登 丹崎 健一 中山 昌作 西田 豊明 宮下 恭子
柳下 秋久 山本 毅 吉田 博紀

【理事・監事】

任期:令和4(2022)年定時評議員会終結時まで

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	安道 光二	理 事	越智 朗
副 会 長	津田 誠		加藤 育広
副 会 長	星野 博		川西 斎
副 会 長	萬 正一		神崎 公宏
専務理事	野際 照章		木原 晴彦
常務理事	安藤 正美		篠 邊 保
	北本 英幸		白水 厚二
	佐藤 健司		松田 孝志
理 事	足立 真一		山下 晴海
	石川 雅利		和歌浦 京子
	井上 光子	監 事	井上 清一
	上山 親子		斉藤 元三
	大房 裕司		宮田 勤

【評議員】

任期:令和6(2024)年定時評議員会終結時まで

運上 琢論(北海道)	新保 俊彦(青 森)	内藤 真一(岩 手)
鍵 紀代子(宮 城)	東海林 裕晴(秋 田)	柏倉 達雄(山 形)
小野間 幸一(福 島)	額賀 富雄(茨 城)	木所 一典(栃 木)
佐藤 栄一(群 馬)	中村 進(埼 玉)	堀越 浩(千 葉)
横山 隆二(東 京)	鈴木 敏雄(神奈川)	米山 隆(山 梨)
国島 孝志(新 潟)	原 雅幸(長 野) ※2	高辻 則夫(富 山) ※2
	跡部 享(長 野)	山口 崇和(富 山)
永井 茂樹(石 川)	川畑 茂(福 井)	小林 正(静岡県)
澤田 康彦(愛 知)	天野 晴夫(三 重)	安藤 清(岐 阜)
金井 豊(滋 賀)	増木 博一(京 都)	友谷 往弘(大 阪)
森田 賢二(兵 庫)	西森 卓也(奈 良)	花田 一弥(和歌山)
安東 健司(鳥 取)	大地本 一到(島 根)	小野 尚彦(岡 山)
大前 秀樹(広 島)	弘中 基之(山 口)	毛利 喜信(徳 島)
荒井 隆(香 川)	越智 克昌(愛 媛)	横江 忠志(高 知) ※1
		川島 祥嗣(高 知)
湯田 純孝(福 岡) ※2	公門 武敏(佐 賀)	金子 正剛(長 崎)
高井 英生(福 岡)		
岩下 敏和(熊 本)	福田 茂(大 分)	當瀬 純一(宮 崎)
辛島 康明(鹿児島) ※2	宮城 正彦(沖 縄)	荻野 栞(日本学連)
加藤 秀俊(鹿児島)		
石岡 重光(高体連)	上田 竜次(中体連)	

※1 令和3(2021)年定時評議員会まで

※2 令和3(2021)年臨時評議員会まで

【顧問弁護士】 鈴木 孝雄 氏
【公認会計士】 櫻井 資悦 氏
【税理士】 加藤 貴大 氏 (税理士法人みなと財務)

【専門委員会・部会】

任期:令和4(2022)年定時評議員会終結時まで

委員会・部会	職	氏名	所属
総務委員会	委員長	石川 雅利	千葉
	副委員長	天野 晴夫	三重
	委員	安藤 正美	香川
	委員	佐藤 健司	東京
	委員	大地本 一到	島根
	委員	運上 琢諭	北海道
	委員	牧野 伸一	京都
	委員	加藤 育広	秋田
企画委員会	副委員長	大野 勝敏	埼玉
	委員	清水 諭	茨城
	委員	松田 恵示	東京
	委員	星 祥子	千葉
	委員	田中 剛	東京
	委員	榎並 紳吉	東京
	委員	脇田 愛	神奈川
	委員	香川 翔	香川
	委員長	木原 晴彦	広島
	副委員長	櫻井 資悦	千葉
財務委員会	委員	白水 厚二	大分
	委員	多田 光廣	香川
	委員	小川 信也	岐阜
	委員	加藤 勉	栃木
	委員	栗原 博	埼玉
	委員長	木原 晴彦	広島
	副委員長	牧 壮一	愛知
	委員	越智 朗	愛媛
審判委員会	委員	佐藤 鉄太郎	宮城
	委員	片岡 勝	青森
	委員	木下 道夫	東京
	委員	川島 裕和	石川
	委員	増木 博一	京都
	委員	田村 忠士	広島
	委員	小田 宗雄	熊本
	委員	蒲原 英敏	広島
	委員長	安藤 正美	香川
	副委員長	岩下 敏和	熊本
	委員	吉田 茂	福島
	委員	小脇 静香	千葉
競技委員会	委員	大津 竜二	愛知
	委員	小野 道康	新潟
	委員	成田 扶美代	大阪
	委員	吉田 敏彦	岡山
	委員	正岡 義晶	愛媛
	委員長	安藤 正美	香川
	副委員長	岩下 敏和	熊本
	委員	吉田 茂	福島

	等級制度部会	部会長	岡村 勝幸	山梨
		副部会長	白水 厚二	大分
		委員	上山 親子	大阪
		委員	松田 孝志	宮城
		委員	荒井 隆	香川
	プログラム編成部会	部会長	佐藤 健司	東京
		副部会長	木所 一典	栃木
		アドバイザー	長岡 敏久	埼玉
		委員	山下 晴海	埼玉
		委員	東海林 裕晴	秋田
		委員	芝地 康幸	兵庫
		委員	西木 宏	徳島
		委員	安達 和紀	鳥取
		委員	小野 道康	新潟
		委員	黒瀬 麗子	静岡
		委員	石坂 欣也	東京
		委員	小笠原 浩二	東京
		委員	織原 真由美	東京
		委員	川口 さつき	東京
		委員	中野 吉広	東京
		委員	成島 厚子	東京
		委員	山口 眞護	東京
	強化委員会	委員長	北本 英幸	石川
		副委員長	神崎 公宏	三重
		委員	篠邊 保	愛知
		委員	斉藤 広宣	千葉
		委員	篠原 秀典	東京
		委員	高井 志保	大阪
	強化スタッフ部会	部会長	神崎 公宏	三重
		副部会長	北本 英幸	石川
		委員	中堀 成生	広島
		委員	斉藤 広宣	千葉
		委員	堀 晃大	広島
		委員	伊加 英隆	香川
		委員	池田 征弘	京都
		委員	佐藤 英宣	愛知
		委員	橋本 康德	京都
		委員	松崎 法夫	福島
	競技者育成プログラム部会	部会長	篠邊 保	愛知
		副部会長	白幡 光	山形
		副部会長	井上 創	兵庫
		委員	北本 英幸	石川
		委員	足立 真一	静岡
		委員	大房 裕司	東京
		委員	井上 光子	千葉

		委員	安達 和紀	鳥取	
		委員	松浦 誠	宮崎	
		委員	小林 幸司	東京	
		委員	木下 恵司	香川	
		委員	林 三千夫	兵庫	
		委員	千葉 英明	宮城	
		委員	岡村 勝幸	山梨	
		委員	小峯 秋二	富山	
		委員	天野 晴夫	三重	
		委員	溝渕 俊二	和歌山	
		委員	手嶋 信彦	広島	
		委員	越智 克昌	愛媛	
		委員	岩下 敏和	熊本	
		指導者育成委員会	委員長	篠邊 保	愛知
			副委員長	井田 博史	東京
委員	北本 英幸		石川		
委員	井上 光子		千葉		
委員	小野寺 剛		東京		
委員	玉井 俊光		和歌山		
委員	高井 志保		大阪		
委員	浅川 陽介		東京		
生涯スポーツ委員会	委員長	川西 斎	奈良		
	副委員長	和歌浦 京子	新潟		
	委員	松田 孝志	宮城		
	委員	椎名 顕子	愛媛		
	委員	普天間 富士子	沖縄		
	小学生部会	部会長	長岡 敏久	埼玉	
		副部会長	和歌浦 京子	新潟	
		委員	石川 雅利	千葉	
		委員	上山 親子	大阪	
		委員	廣島 義清	北海道	
		委員	花園 安紀	東京	
		委員	友谷 往弘	大阪	
		委員	宇野 一行	愛媛	
委員		渡瀬 義正	静岡		
委員		畠山 洋二	広島		
委員		中村 正広	福岡		
シニア部会		部会長	白水 厚二	大分	
	副部会長	石川 雅利	千葉		
	委員	鍵 茂	宮城		
	委員	横野 久美子	愛知		
広報委員会	委員長	山下 晴海	埼玉		
	副委員長	越智 朗	愛媛		
	委員	工藤 聡子	青森		
	委員	田中 和雄	広島		

	機関誌部会	委員	萩原 廣一	神奈川
		委員	上野 渉	石川
		委員	崎田 勝	鹿児島
		委員	黒瀬 麗子	静岡
		部会長	井上 光子	千葉
		副部会長	臼田 弘	千葉
		委員	古川 忠志	千葉
		委員	近藤 貴予	東京
		委員	鬼束 二三江	神奈川
		委員	井上 まゆ美	東京
		委員	原 美香	神奈川
会員登録委員会		委員長	越智 朗	愛媛
		副委員長	森田 賢二	兵庫
		委員	井上 光子	千葉
		委員	白水 厚二	大分
		委員	鳥羽 敬子	三重
	中学生部会	部会長	大房 裕司	東京
		副部会長	高橋 茂	東京
		委員	足立 真一	静岡
		委員	和歌浦 京子	新潟
		委員	安藤 正規	東京
		委員	岸本 正文	徳島
		委員	木所 一典	栃木
	高校生部会	部会長	足立 真一	静岡
		副部会長	大槻 範和	長崎
		委員	川西 斎	奈良
		委員	大房 裕司	東京
		委員	根本 光泰	宮城
		委員	石岡 重光	京都
	大学生部会	部会長	神崎 公宏	三重
		副部会長	佐藤 順一	北海道
		委員	北本 英幸	石川
		委員	今野 優子	宮城
		委員	佐野 寛	大阪
		委員	村山 孝之	石川
国際委員会		委員長	角田 光央	東京
		副委員長	玉木 進	東京
		アドバイザー	丹崎 健一	東京
		委員	木原 晴彦	広島
		委員	蒲原 英敏	広島
		委員	関川 文彦	新潟
		委員	藤島 淑子	神奈川
		委員	井田 博史	東京
		委員	小林 拓磨	愛媛

医科学委員会		委員長	山本 裕二	愛知
		副委員長	川西 斎	奈良
		委員	守重 昌彦	東京
		委員	藤島 淑子	神奈川
		委員	川上 晃司	兵庫
	医学部会	部会長	守重 昌彦	東京
		副部会長	佐藤 健司	東京
		委員	出家 正隆	愛知
		委員	藤島 淑子	神奈川
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	山田 隆	東京
		委員	目加田 優子	東京
		委員	今井 愛	神奈川
		委員	藤本 陽	静岡
		委員	國友 耕太郎	熊本
		委員	植田 由衣	千葉
		委員	小久保 友貴	愛知
	アンチ・ドーピング部会	部会長	藤島 淑子	神奈川
		副部会長	加藤 育広	秋田
		委員	井田 博史	東京
		委員	上遠野 久美	福島
		委員	玉木 進	東京
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	守重 昌彦	東京
		委員	神保 綾	埼玉
		委員	尹 美帆	滋賀
		委員	烏山 司	福岡
	トレーナー部会	部会長	川上 晃司	大阪
		副部会長	川西 斎	奈良
		委員	東 知宏	北海道
		委員	工藤 梨乃	兵庫
		委員	桑原 亜香音	神奈川
		委員	阪根 ちひろ	京都
		委員	深間内 誠	三重
		委員	高川 亜紀	広島
		委員	中野 道治	大阪
		委員	小亀 裕美	兵庫
		委員	兼平 智孝	宮城
		委員	土井内 友巳奈	京都
		委員	田中 京介	熊本
		委員	永野 康治	東京
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	市山 裕梨	大阪
		委員	溝口 英二	大阪
		委員	北村 塁	北海道

	スポーツ科学部会	委員	来住野 麻美	東京
		部会長	井田 博史	東京
		副部会長	上山 親子	大阪
		委員	緒方 貴博	東京
		委員	永野 康治	東京
		委員	福原 和伸	神奈川
		委員	水野 哲也	千葉
		委員	村山 孝之	石川
		委員	山本 裕二	愛知
		委員	篠原 秀典	東京
		委員	川上 晃司	兵庫
		委員	高橋 和孝	神奈川
ICTシステム委員会		委員長	安藤 正美	香川
		副委員長	天野 晴夫	三重
		委員	山下 晴海	埼玉
		委員	高橋 強	福島
		委員	小野 尚彦	岡山
		委員	友光 亜希子	埼玉
環境・教育委員会		委員長	上山 親子	大阪
		副委員長	加藤 育広	秋田
		委員	和歌浦 京子	新潟
		委員	松田 孝志	宮城
		委員	岡村 勝幸	山梨
		委員	新保 俊彦	青森
		委員	林 研一	熊本
用具・用品・施設委員会		委員長	佐藤 健司	東京
		副委員長	安藤 正美	香川
		委員	山下 晴海	埼玉
		委員	鈴木 敏雄	神奈川
指導基本規程違反救済審査委員会		委員長	鈴木 孝雄	神奈川
		副委員長	野際 照章	京都
		委員	霊池 恵量	愛知
		委員	林 昭文	東京
		委員	石井 友梨	京都
倫理・コンプライアンス委員会		委員長	宇野 治	滋賀
		副委員長	野際 照章	京都
		委員	佐藤 健司	東京
		委員	清水 諭	茨城
		委員	櫻井 資悦	千葉
		委員	高梨 憲爾	神奈川
		委員	運上 琢諭	北海道
危機管理委員会		委員長	北本 英幸	石川
		副委員長	石川 雅利	千葉
		委員	篠邊 保	愛知
		委員	越智 朗	愛媛

	委員	佐藤 栄一	群馬
	委員	重平 静洋	岡山
	委員	小野間 幸一	福島
	委員	中元 正人	熊本
アスリート委員会	委員長	浅川 陽介	東京
	副委員長	村山 孝之	石川
	委員	加藤 育広	秋田
	委員	足立 真一	静岡
	委員	大庭 彩加	鹿児島
	委員	黒木 瑠璃華	東京
競技者資格委員会	委員長	野際 照章	京都
	副委員長	神崎 公宏	三重
	委員	安藤 正美	香川
	委員	木原 晴彦	広島
	委員	柏倉 達雄	山形
	委員	永井 茂樹	石川

【事務局】 令和4年3月31日現在

事務局長 荒木 朋子
 職 員 大八木 洋子 堀内 大 清水 望 佐藤 成敏
 常勤嘱託職員 渡部 誠之